

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	人工血液透析通院交通費助成				開始年度	平成10年度	
基本目標	社会福祉の充実したまちづくり				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	社会福祉係	記入者	押川 嘉子	評価者	井上敏郎
20年度決算	230	千円	21年度予算	180	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	359 千円		21年度人件費	73 千円		事業従事者数	0.05 人 0.01 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	透析患者の通院交通費助成をおこない、経済的負担の軽減を行う。
事業の内容	人工血液透析治療を受けている者に対し、通院するために公共交通機関へ支払った交通費の助成を行う。 (限度額 町内3,000円/月 町外4,000円/月)

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 助成件数	公共交通機関を利用して人工血液透析療法を受けている障がい者の負担軽減を図る。
	2 助成実人員	実際に何人の人工血液透析患者の負担軽減が図られたのか。
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 助成額	公共交通機関を利用して人工血液透析療法を受けるために要した経費の負担軽減額。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	助成件数	目標値	154	19	9	
		実績値	154	19		
		達成率	100.0%	100.0%		
	助成実人員	目標値	人		13	3
		実績値	人		13	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
0	目標値	人				
	実績値	人				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	助成額	目標値	円	2,160,000	300,000	180,000
		実績値	円	2,150,000	236,060	
		達成率	%	99.5%	78.7%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	事業廃止を検討したが、1日おきに通院を必要とする透析患者の負担軽減に寄与しており、昨年度から公共交通機関を利用した場合のみに限定して助成を行うこととなった。 透析患者のほとんどは重度身体障がい者への医療費助成も受けており、病院によっては送迎をしているところもある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	人工血液透析患者の経済的負担の軽減が図られてはいるが、公共交通機関を利用して人工血液透析療法を行った者はごくわずかである。 昨年度の改正で、継続の要望もかなり寄せられたが、宮崎市の方式(住民税非課税世帯にガソリン券を支給)なども検討し、事業のあり方を再考する必要がある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	年々人工血液透析患者は増加していると思われるが、公共交通機関利用者に限定したことで、経費や時間は大幅に削減された。もともと4半期に1回の申請としているため、これ以上の事務時間の削減は難しい状況にある。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	可能性はない。

事務事業名	人工血液透析通院交通費助成	担当課(局)	健康福祉課
-------	---------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	20年度制度改正により交通費助成の適正化が図られ、他の障がい者との不均衡も図られている。当面は現状を維持する。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎将来的には「廃止」と考える。
	コスト	廃止	